

故・西川善介名誉教授 遺稿「日本林業経済史論 3」の 掲載にあたって

所員・文学部社会学専攻教授 柴田弘捷

西川善介先生の遺稿「日本林業経済史論 3」が掲載されることになりました。

日本の林業研究は徳川林政史研究所の研究員になられて（1950年）以来の先生のライフ・ワークでありまして、本「日本林業経済史論」は、先生がお亡くなりになるまで書き続けられていたものです。「1」「2」は先生が生前に投稿されず『年報』41、42号に掲載されていますが（ただし、「2」は、再校ゲラを見ることができませんでした）、本稿「3」はその推敲半ばでお亡くなりになり、残念ながら「完全な」完成原稿に仕上げることができなかつたと、奥様から伺っておりました。そのことが、先生は「無念」であつたのではないかと推察しておりました。

とはいえ、先生が亡くなられて（2007年11月3日）、その一周忌を過ぎた時期に、先生の遺稿ともいふべき本稿を本『年報』に掲載できましたことは、長く社会科学研究所の所員として、研究所の研究活動に貢献して下さつた先生へのご供養の一つになるのではないかと、所員の一人として、また長い間同じ社会学の同僚教員であつた者として、喜んでおります。

（2008年12月10日 記）

〔付記〕 西川先生の略歴および研究業績につきましては、『専修人文論集』第41号（1988年2月）および『専修社会学』第19号（2007年3月）を参照ください。